

市民病院だより

市民が安心できる医療の提供

2024.01
No.31



大崎市公式キャラクター
パタ崎さん



大崎地域1市4町で連携協約を締結

令和5年10月28日、大崎市役所にて、大崎市・色麻町・加美町・涌谷町・美里町の「大崎地域の医療提供体制の確保に係る連携協約締結式」が行われました。

この連携協約には、大崎地域で役割を分担し、持続可能な医療提供体制を構築していくための取組事項が定められており、1市4町の議会の議決を経て締結に至りました。

また令和8年度には、本院の敷地内に開設する地域医療連携拠点施設の中に夜間急患センターを移転整備し、夜間の初期救急機能の充実を図ります。さらに施設内には、新興感染症に対応するスペースや、地域合同で医療の質を向上させるための研修室などの整備も計画しています。

今後も、1市4町で協力・連携しながら、住民の皆さんが安心して医療を受けられるような体制の確保に努めていきます。



令和5年10月7日開催
第5回大崎市民病院
ふれあい健康フェスティバル
ご参加ありがとうございました！

歌手Ruby birdさん

検査結果にドキドキ

バルーンアーティストYUYUさん

認知症についての展示も行いました

パタ崎さんも検査体験

カッコいい消防車と救急車にみんな興奮！

みんな楽しんでくれました♪

風船リョックを背負ってピース！

看護師が出前講座に伺います！

専門知識を持つ当院の看護師が、地域住民や民間団体、学校や幼稚園、一般企業や介護施設、病院等に向き、無料で勉強会を行っています。

【主な講義内容】

- ・感染対策について（正しい手洗いの方法や消毒、インフルエンザや新型コロナウイルス発生時の対応など）
- ・糖尿病予防の生活指導について
- ・認知症について
- ・がん検診や治療に関することについて など

詳しい内容や申込方法はウェブサイトに掲載していますので、QRコードからご覧ください。



市民病院だより No.31

2024年1月1日発行【年4回発行】

大崎市民病院
経営管理部経営企画課経営戦略係
TEL 0229-23-3311 (内線 3705)
MAIL kikaku@h-osaki.jp
〒989-6183
大崎市古川穂波三丁目8番1号
WEB <https://www.h-osaki.jp>



ご支援

いただきました

多くの皆さんから、病院の運営に役立ててほしいと、さまざまなご寄贈をいただきました。院内で大切に使用していきます。

- 有限会社千田清掃 様
- ヤマセ電気株式会社 様

ほか

質の高い地域完結型医療を目指して 大崎市民病院登録医のつどいを開催

令和5年10月16日に「第17回大崎市民病院登録医のつどい」を開催しました。このつどいは、当院の登録医である先生方と、当院医師との連携の推進、地域全体の医療の質向上と充実を図ることを目的とし、毎年開催しています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大後は、オンラインを中心に開催していましたが、今年は4年ぶりに集合形式の開催となり、登録医の先生方と当院医師とで直接顔を合わせ、意見交換ができ、より一層の連携が図られました。

当日は、昨年度導入した「経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)」や「手術支援ロボット」の実績や今後の予定のほか、今年度新設した「口腔機能ケアセンター」の紹介、各分院・診療所からの診療に関

する情報提供が行われました。現在、ロボットによる手術は、外科、泌尿器科、呼吸器外科、婦人科の疾患を対象に行っており、その状況についての報告も行われました。

今後も、登録医療機関の先生方、関係機関の皆様とともに、大崎地域全体の医療提供体制を考え、市民の皆さんが安心して暮らせる大崎市を目指して取り組んでいきます。



あいさつする今泉院長

患者さんの理想の生活をサポートする

MSWに聞いてみた。

全国的な高齢化社会の中で、1人で暮らす高齢者が増加しています。大崎市の1人で暮らす65歳以上の世帯数は、令和2年3月末の6416世帯に対し、令和5年3月末は7625世帯と、3年間で1209世帯(約18%)増加しています(宮城県高齢者人口調査結果より)。当院に入院する患者さんの中でも、1人で暮らす高齢者の方は多く、入退院支援がとても重要です。

今回は、私たち入職一・二年目の職員が、新人研修の一環として、当院と他の医療機関や介護施設などとの間をつなぐ役割を担う、医療ソーシャルワーカー(以下「MSW」と表記します)に話を聞いてみました。

Q・1人で暮らす高齢者の方の入退院支援で、心がけていることは何ですか。

MSW: 私たちが入退院支援を行う患者さんは、1人で暮らす高齢者の方だけではなく、障がいがある方や支援者が居ない方など、さまざまです。退院後の患者さんの生活について、本人やご家族の希望に近づけられるようなゴールを、一緒に見つけ

ることを心がけています。患者さんが抱える問題や思いに向き合い、寄り添いながら支える存在になりたいと考えています。

Q・私たち市民が、1人で暮らす高齢者の方にできることはありますか。

MSW: 日



プライバシーに配慮した相談ブース

このままだと… 救急患者さんに対応できなくなります

現在、軽症などの患者さんが、休日・夜間に受診することが増えており、このまま増えていくと、救急の治療が必要な患者さんが十分な医療を受けられなくなってしまいます。さらに、令和6年4月から、働き方改革による医師の残業時間の上限が設けられることで、医療現場においてもさまざまな対応が求められています。市民の皆さんが安心して医療を受けることができるように、救急医療の適正受診にご協力ください。市民の皆さんの行動が、大崎地域の救急医療を支える力になります。

具合が悪いと感じたら…

症状が軽い時に、なるべく平日の日中にかかりつけ医を受診しましょう！夜間・休日に症状が軽い方が救急外来を受診する、いわゆるコンビニ受診はやめてください。経営者の皆さんも、従業員が平日の日中に医療機関を受診できるよう、ご協力をお願いします。

受診の判断に迷うときは…

おとな救急電話相談 #7119 **子ども夜間安心コール #8000**

平日:午後7時～翌午前8時 土曜日:午後2時～翌午前8時
日曜日・祝日:午前8時～翌午前8時(24時間) 毎日:午後7時～翌午前8時

こんなときは迷わず119! 胸が激しく痛む・突然の頭痛・意識が無い・交通事故

当院のMSW

各分院にもMSWが配置され、患者さんの転院・退院調整をより一層スムーズに行うことができます。また、定期的な打ち合わせや勉強会を行い、地域との連携や質の向上に努めています。

大崎市民病院本院	12人
鳴子温泉分院	2人
岩出山分院	1人
鹿島台分院	1人



お気軽にご相談ください!

頃から気にかけて声をかけることは、とても大事だと思います。例えば、自分の周りに1人で暮らす高齢者の方が居る場合は、こまめにコミュニケーションを取っていただくの良いと思います。また、行政機関などが実施している支援や、見守りサービスもあるので、活用するよう伝えてみるのもよいかと思えます。

Q・最後に、市民の皆さんに一言お願いします。

MSW: 当院では、多職種で連携しながら、医療の相談や生活・福祉の相談、医療安全相談など

……おわりに……

この記事の作成を通して、MSWは、1人暮らしの高齢者だけでなく、患者さんに関わった支援を行っています。とが分かりました。市民の皆さんにもMSWのことを知ってもらいたいです。